

旭小日記

R3.4.21

あまびえ



1年生の子と下校をしていると、

「うちにね、あまびえのぬり絵がいっぱいあるよ！コロナになりたくないもん。」

と言っていました。旭小の子どもたち、先生方、保護者、地域の皆様、そしてこのホームページを見られた方が元々

に笑顔ですごくおすすめです。あまびえをのせていきます。



五年生 A.J.さんのあまびえ



あまびえとは

日本に伝わる妖怪。光輝く姿で海中から現れ、豊作や疫病などの予言をすると言われています。

その姿は人魚に似ていますが、口はくちばし状で目はひし形、黒目と白目があり、耳はしきものあり。体はウロコに覆われていて、足は二本という特徴があります。

江戸時代の肥後国（現、熊本県）のお話。当時の文献に毎晩のようには海中で光るものが出没するため、役人が向かおうとしたところ、あまびえが現れたという記録が残っています。

あまびえは役人に対して、「私は海中に住むおあまびえと申す者なり」と名乗り、「当年より文の間は諸国で豊作が続くが疫病も流行する。私の姿と絵に描いて人々に見せよ」と告げたとされています。